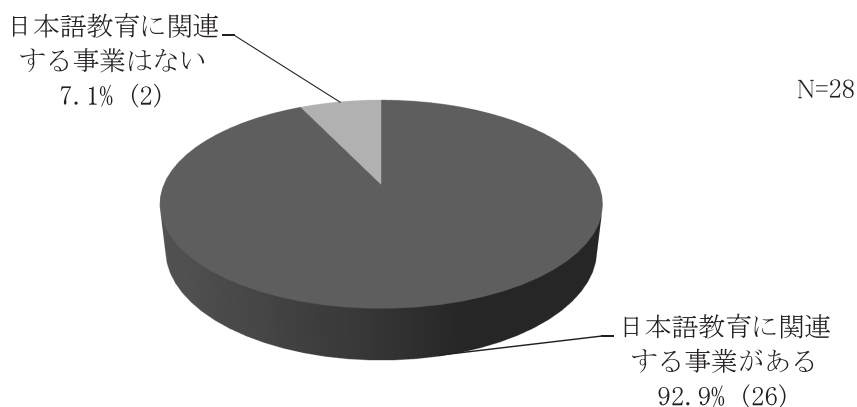


3 国際交流協会調査結果

- 調査対象 県内市町国際交流協会
- 調査期間 平成 25 年 9 月 27 日から平成 25 年 10 月 16 日まで
- 回収率 82.4% (回答 28 件 / 送付 34 件)

■貴協会における日本語教育施策について

問1 貴協会で実施している日本語教育に関連する事業にはどのようなものがありますか。

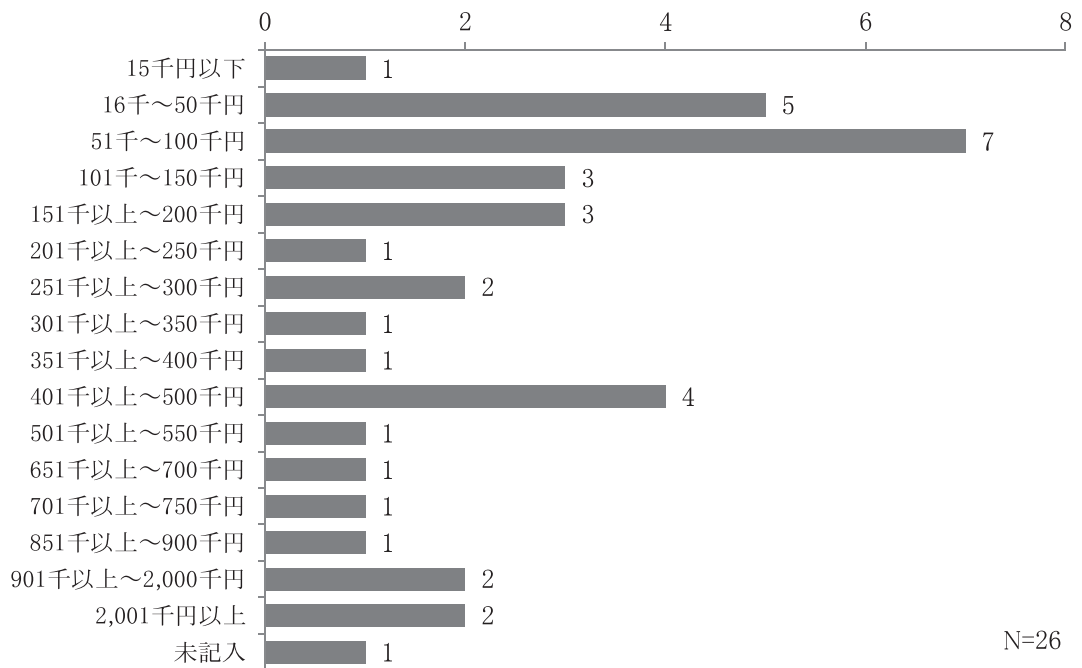


◆事業内容

※複数回答あり、自由記述

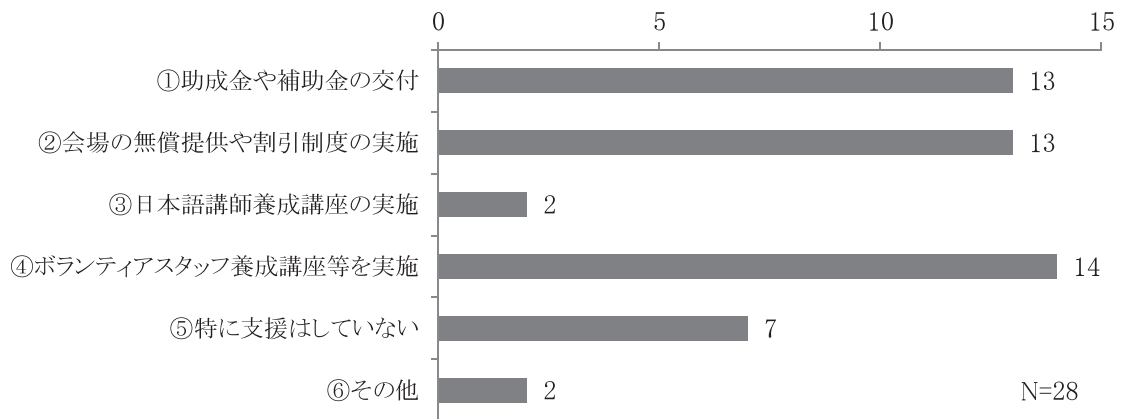
日本語教室の開催	26 件
日本語ボランティア養成講座、ボランティア研修の開催	8 件
市内の日本語ボランティア団体が参加するネットワーク会議の開催	1 件
日本語スピーチコンテストの開催	1 件
日本語教室へ講師を派遣	1 件
日本語ボランティアへの補助金の交付	1 件

◆平成 25 年度予算額(事業1件あたりの予算額)



問2 「地域の日本語教室」への国際交流協会としての支援にはどのようなものがありますか。

※あてはまるもの全てに○

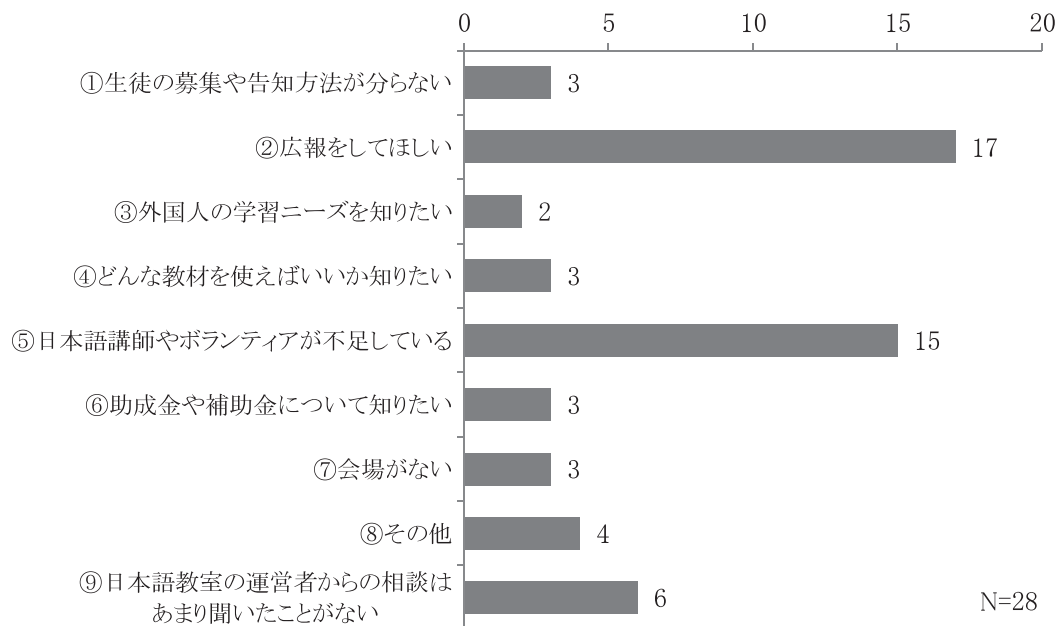


⑥その他

教材の貸し出し制度	1件
協会ホームページやチラシ、窓口でのPR	1件

問3 日本語教室の運営者からの相談にはどのようなものがありますか。

※多いもの3つまでに○

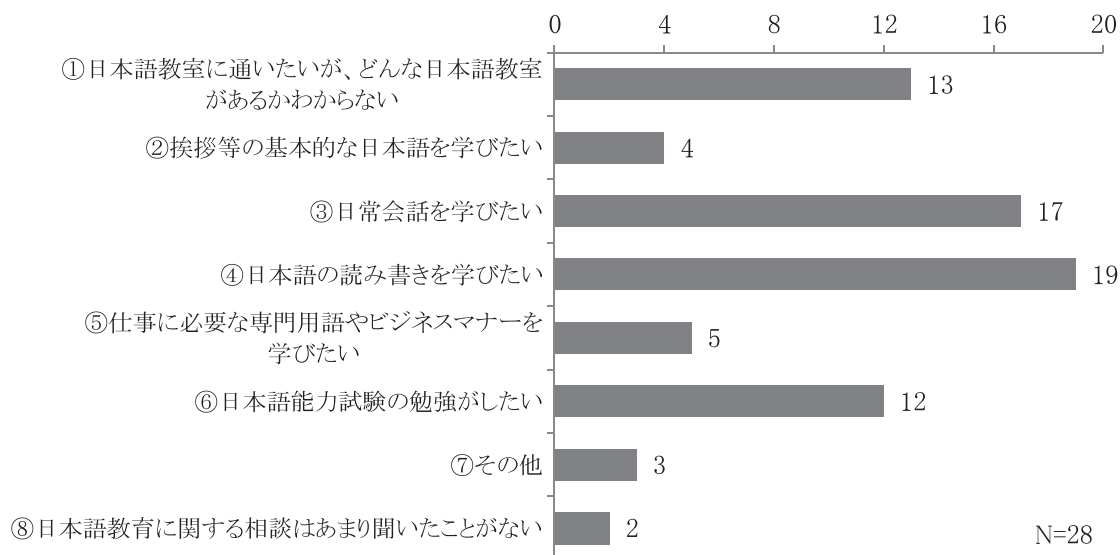


⑧その他

協会の運営の日本語教室のため、相談はない。	2 件
魅力ある日本語教室にするにはどうしたらよいか。	1 件
受講者が長続きしない。	1 件

問4 大人の外国人住民からの日本語教育に関する相談にはどのようなものがありますか。

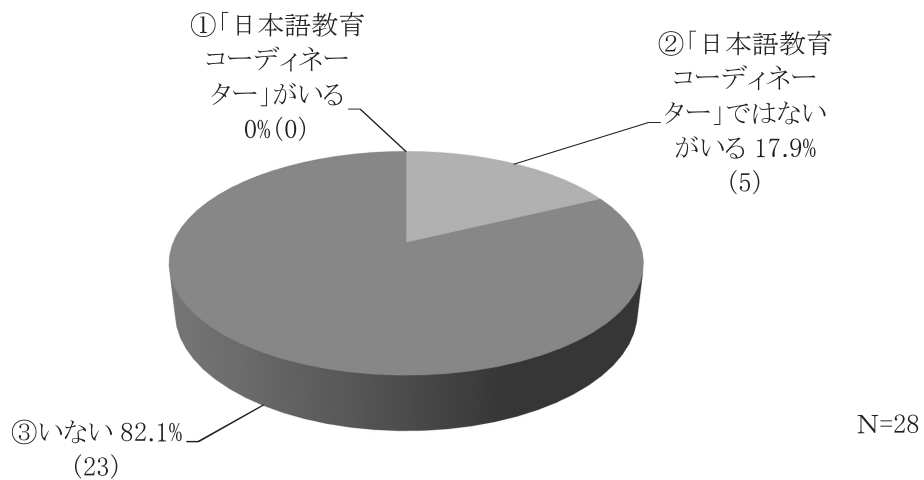
※多いもの3つまでに○



⑦その他

全日制の日本語学校の紹介	1 件
漢字を教えてほしい。	1 件

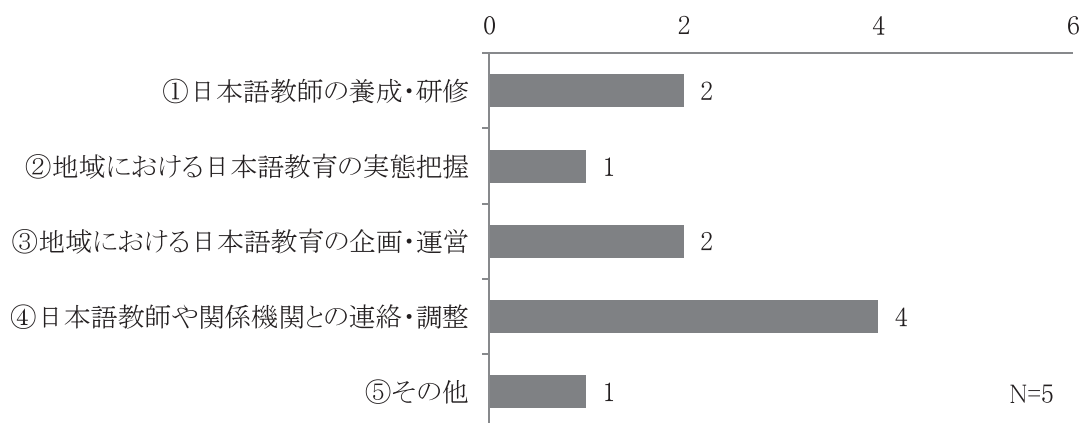
問5 貴協会には専門の「日本語教育コーディネーター※」もしくは、そのような業務を担当されている方はいますか。



※日本語教育コーディネーター：

「日本語教育コーディネーター」等の名称を持ち、日本語教師の養成・研修、地域における日本語教育の実態把握、地域における日本語教育の企画・運営、日本語教師や関係機関との連絡・調整等の業務を担当している人のこと(文化庁定義)。

②「日本語教育コーディネーター」ではないがいる：内容 ※複数回答



⑤その他

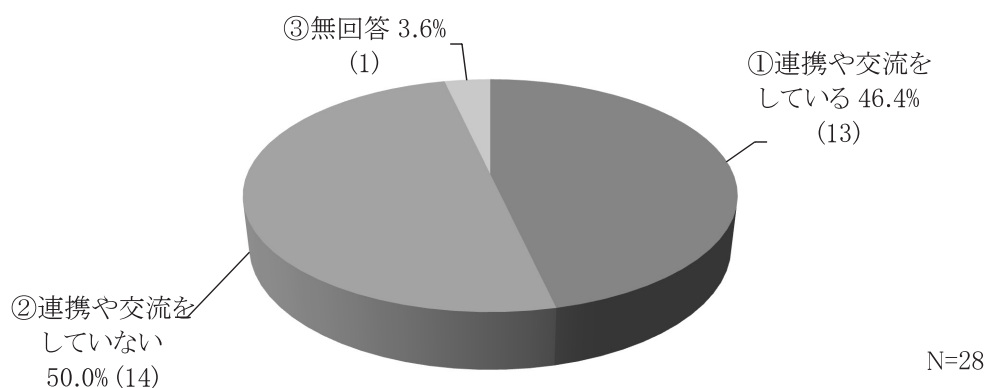
日本語教室に関わる運営・調整、他機関との連絡調整	1件
--------------------------	----

問6 地域における日本語教育(特に成人向け)にはどのような問題点があると認識されていますか。

※自由記述 (同様コメントのまとめ)

項目	意見
日本語教室 やスタッフ等	学習者のニーズがさまざまで、ボランティアでは対応しきれない。
	講師や運営をボランティアに頼る部分が多く、ボランティアの力量によって指導の質の差が出る。
	日本語指導者やボランティアスタッフの確保が困難(人材不足)。
	開催日、時間、場所や授業内容が外国人のニーズにあっていない。
	学習者の日本語レベルがまちまちで、それぞれのニーズも異なるため、どのような形態の日本語教育が必要かを把握するのが難しい。
	学習者、ボランティアそれぞれに人数の変動があり、マッチングさせるのが難しい。
	日本語教室開催の情報を日本語学習が必要な人に届けることができていない。
	地域活動に参加できていない。
学習者	仕事の関係などから日本語学習の時間確保が困難。
	学習者の継続的学習意欲の確保
	外国人参加者の減少、非定着(長続きしない)。
場所	交通に不便
教材	学びたい人に合った教材がない。
	教材が高くて買えない人がいる。
教授内容	会話に偏っていて、特に書くことへの配慮が欠けている。
企業の理解・ 協力	研修生など雇用している企業が積極的に教室に通うように指導しない。

問7 日本語教育に関して、他の団体(県、市町村、企業、大学、NPO、日本語教室等)との連携や交流を行っていますか。



① 連携や交流をしている:交流団体と交流内容

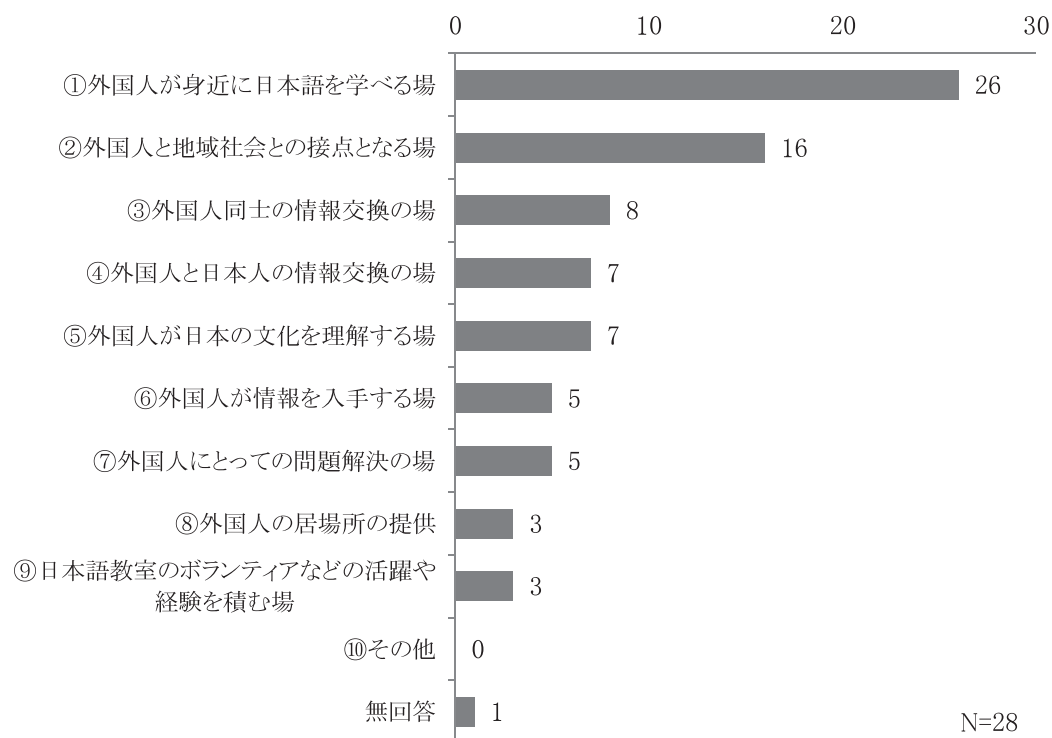
交流団体のまとめ ※複数回答あり	
国際交流協会	4件
日本語教室	4件
東海日本語ネットワーク	3件
市町村	2件
愛知県	1件
愛知県国際交流協会	1件
NPO団体	1件
商工会	1件
とよた日本語学習支援システム	1件

交流内容のまとめ ※複数回答あり	
情報交換・共有	6件
合同研修・会議・セミナー・シンポジウム	5件
運営担当、講師の派遣	5件
募集・告知	3件
事業の委託	1件
外国人の紹介	1件
教材の提供	1件

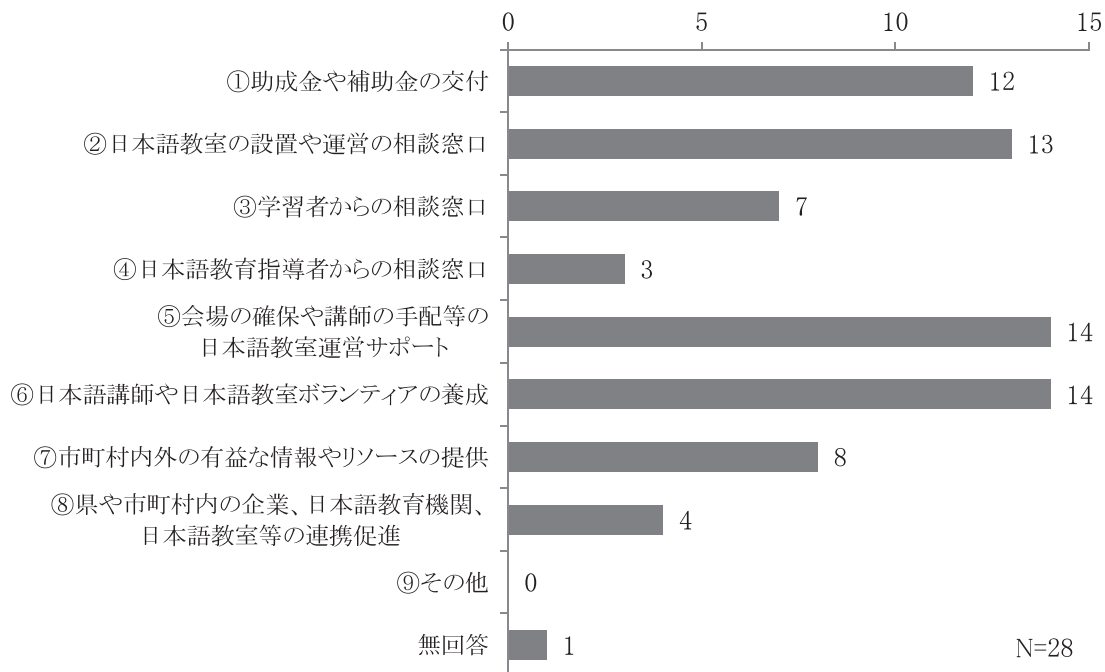
■各主体の役割、地域における日本語教育指針への期待について

問8 「地域の日本語教室」の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。

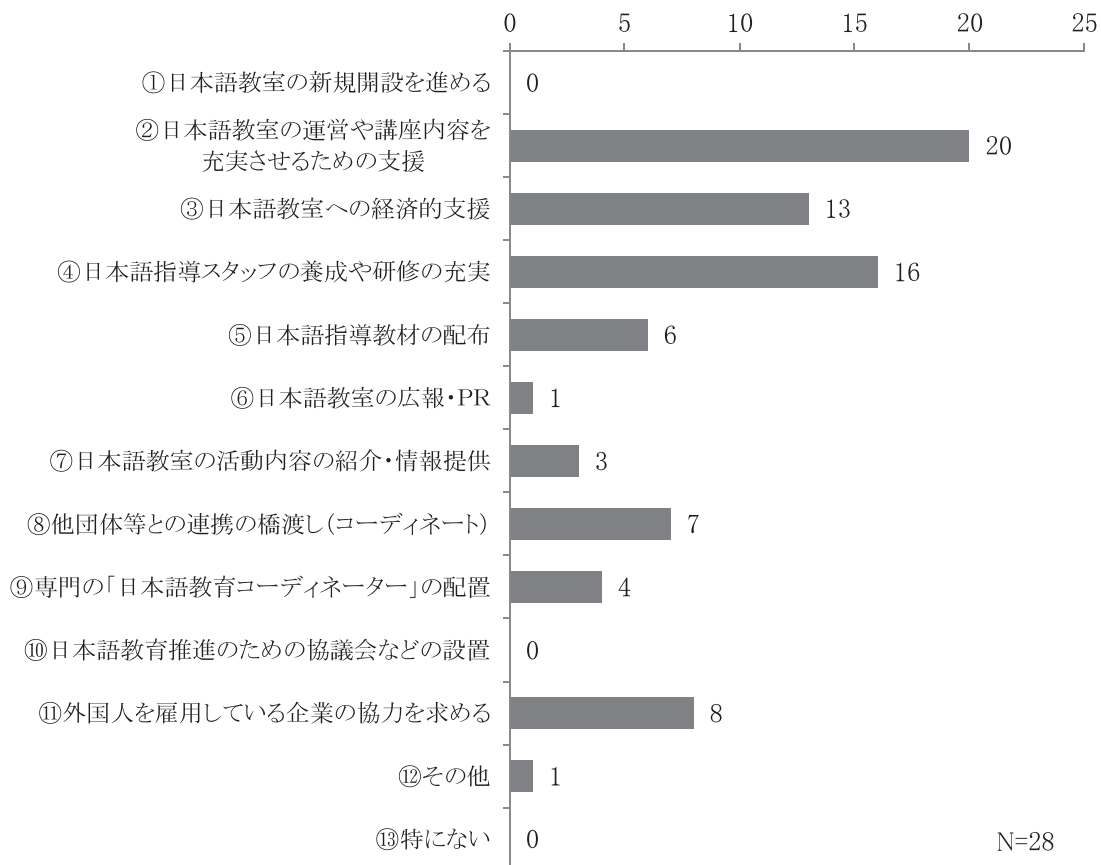
※重要だと思われるもの3つまで○



問9 地域の日本語教育における国際交流協会の役割にはどのようなものがあると思われますか。 ※重要だと思われるもの3つまで○



問10 今後、地域の日本語教室について、県(愛知県国際交流協会を含む)はどのような施策を実施するべきでしょうか。 ※主なものに3つまで○

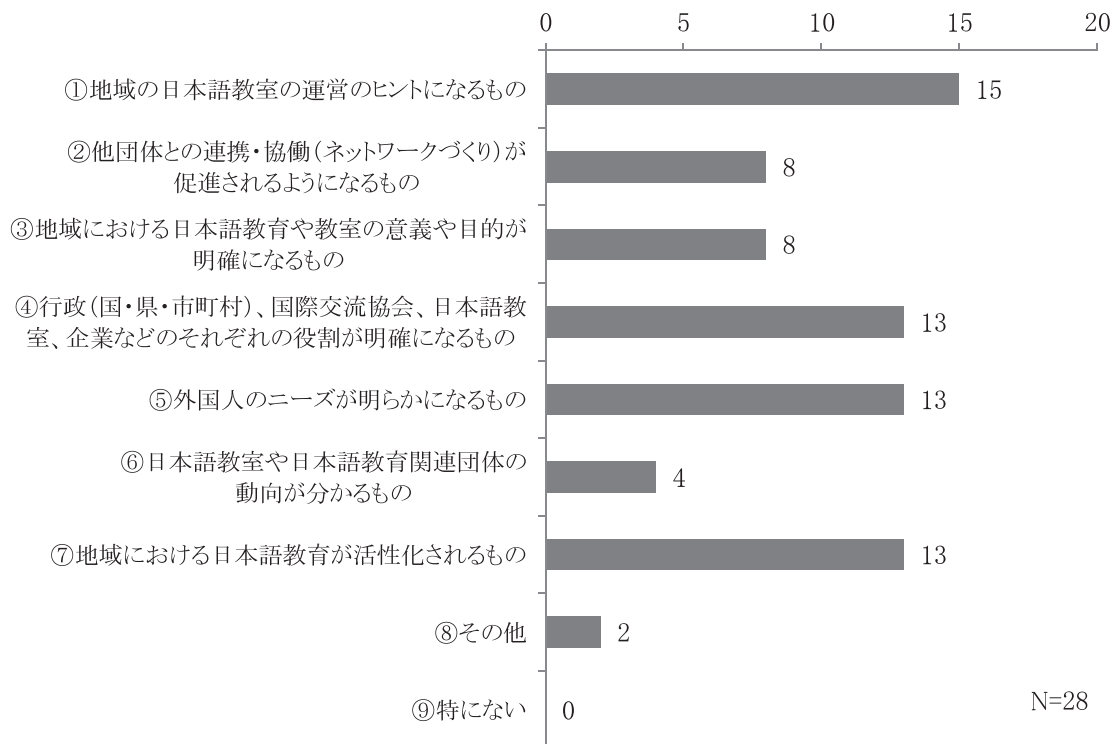


⑫その他

日本語指導者の資質の標準化	1件
---------------	----

問11 地域における日本語教育指針の策定に期待することを教えてください。

※主なものに3つまで○



⑧その他

地域における多文化共生の拠点としての日本語教室のあり方	1件
企業の日本語教室運営等に係る資金援助	1件

個別インタビューから ー 特長ある取組をしている協会を紹介します。

◆公益財団法人名古屋国際センター

名古屋国際センター（NIC）では、日本語ボランティア育成・支援事業として、当地域における日本語ボランティアとの連携と情報交換を図る日本語ボランティアシンポジウムや日本語ボランティア研修を東海日本語ネットワーク（TNN）とともに開催しています。

また、登録ボランティアグループの「NIC日本語の会」及び「子ども日本語教室」では、日本語を母語としない外国人などを対象に、ボランティアと一緒に日常生活で必要となる基礎的な言葉や日本の習慣、文化などを学習し、さまざまな国・地域出身の学習者との交流を行っています。さらに、平成 26（2014）年度からは、市役所の窓口職員等を対象に研修を行うなど、「やさしい日本語」普及啓発事業を実施します。

◆公益財団法人豊橋市国際交流協会

豊橋市国際交流協会では、日本語教室の運営をベースに市内の外国人支援をしている NPO 団体や日本語教室と外国人への日本語学習支援についての情報交換を積極的に行うなど、緊密な連携がとれる関係づくりを目指しています。また、日本語指導ボランティアの養成及び登録ボランティアには講座の無料受講や日本語教材の閲覧や貸し出しを行っています。

今後は、日本語教室の成功事例、問題解決方法などの情報を閲覧できるようなシステムを作り、地域で活動しているボランティアとも情報共有ができればと考えています。

◆東海市国際交流協会

東海市国際交流協会では、日本語を勉強する時間や意欲があるにもかかわらず、子どもと一緒に参加できる教室がないというニーズに応えるため、「子どもと一緒に日本語教室」を開催しています。

テキストを中心にしつつも、学習者が学校や保育園のことで疑問に思ったことについても勉強することで、日本語を覚えるだけでなく、同年代の日本人のママ友を作って、地域社会にもっと参加できるようになってほしいとの思いです。

また、東海日本語ネットワークから講師を招いてボランティア養成講座を開催しており、ボランティアが日本語教育の専門講師に直接質問をしたりアドバイスをもらえる貴重な機会としています。